



地域をサポートしていく

～新たな人材育成研修がスタート～

～農山漁村地域の現状～

農山漁村では、少子高齢化や、人口減少が進行し、後継者不足や集落の維持が困難になってきているなどの課題に直面している。一方、地域に寄り添い、地域づくりをサポートしていく人材の不足と技術の継承が課題となっている。

～今求められている支援とは～

このような現状の中、地域のやる気を引き出し、官民一体となった地域活性化を目指すためには、地域住民に寄り添いながら、地域づくりを一貫してコーディネートしていくことができる人材の育成と確保が求められている。

～地域づくり人材育成研修の実施～

令和3年9月から10月にかけて、県では「地域づくり人材育成研修」を実施した（研修の様子は次ページ）。内容は、地域資源を活用し、地域全体を元気にしていくための支援の方法を学ぶというもので、県内4ブロックで開催、地域づくりに関わる県職員や市町村職員、農業技術普及指導員、林業普及指導員、地域おこし協力隊などを含め96名が受講した。来年度以降も、地域に寄り添いながら、地域自らが動き出したくなるよう継続的にサポートしていくことができる人材の育成に力を入れていく。

山形県地域づくり人材育成研修

Point!

ワークショップの技術を磨くものや、地域づくりの知識を詰め込む研修が多いが、地域づくりには決まった答えはない。だからこそ、地域の個性を引き出していくための視点磨きが重要なのだ。



1日目：座学研修

- ・姿や形が見えない地域づくりにどのように挑むのか。
- ・県内で実際に取り組まれている事例を用いた研修。

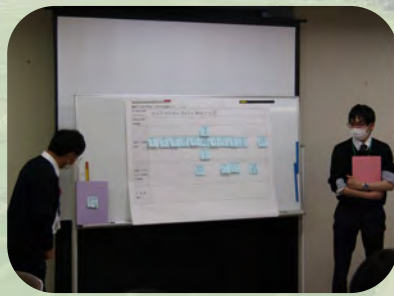


2日目(午前)：班での研修

- ・地域づくりに取り組む前の集落にタイムスリップ。
- ・当時の現状から地域を診断する能力を磨く。



地域の強みや弱みは何だろう？



2日目(午後)：班での研修

- ・診断した結果から、地域を巻き込んでいくための更なる分析。
- ・最後は、各班の地域づくりプランを発表。

参加者の声

ワークショップばかりを意識してしまうが、実際はワークショップにもっていくまでの下準備が大事だとわかった。

ワークショップを開催する目的やタイミングなど、今まで曖昧だったことの理解につながった。

「地域づくり」の具体的な進め方や活動の方法、どのような成果を出していくのかなど、今まで分かっていなかったことへの気づきを得た。